

## 食のサポートステーション「はつらつ」のご案内

～ 当クリニックの1階にあります～

株式会社ヘルシーネットワークとして初の介護食ショップ『食のサポートステーション はつらつ』についてご案内いたします。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください♪

**300品以上取り揃えた介護食品のお店です！**

当ショップでは、やわらか食品・濃厚流動食品・水分補給ゼリー・とろみ調整食品・食具など「はつらつ食品」から厳選した商品を販売しております。中でも、やわらか食品はやわらかさ別にレトルトからカップタイプまで約150品目を取り揃えております。手にとって商品を見る事ができますので、介護食の購入が初めての方でも安心してご利用いただけます。



お問い合わせ先：042-514-8233  
定休日：水曜日・日曜日・祝日  
(当クリニックの休診日に準ずる)  
営業時間：10:00～17:00  
( 昼休み 12:30～13:30 )



多摩クリニック  
ニュースレター  
2022年  
第52号

Summer2022

## 多摩クリニックより夏のご挨拶

新年度を迎え、新たに歯科レジデント、歯科衛生士レジデントを迎え3カ月が経過しました。これまで緊張した表情を浮かべていた両レジデントも、クリニックの日々の流れに慣れはじめてきたように感じます。その両レジデントが少しずつ成長している姿を見れることは、勤務している者にとって、何事にも代えがたい、かけがえのない時間です。

多摩クリニックは、地域支援歯科診療所として、地域と自宅を結ぶ役割を担っていかねばなりません。そして、誠にありがたいのは、現在は地域の方々と、多くの患者さんから「食べる」こと

について、診療のご依頼が多く寄せられております。その多くのご依頼に対し、お応えできるよう、多摩クリニックはこれからも頑張っていきたいと思います。



### 本誌の内容

- P1、夏のご挨拶
- P2、日本老年歯科医学会報告
- P3、研修会のお知らせ  
かかりつけ歯科医のススメ  
書籍のご案内
- P4、はつらつショップのご案内  
編集後記

### 【編集後記】

私は暑い季節を迎えると、冷やしラーメンが食べたくなります。冷やし中華の誤りと思われる方が多いと思いますが、私の出身地である北海道では冷やし中華のことを「冷やしラーメン」と呼んでます。

冷やし中華の呼び名は、地方によって異なるのではないかと、また妙な調べ癖が働いてしまったので、あくまで個人的調査として記載をさせて頂きます。

北海道で冷やし中華を意味する「冷やしラーメン」は、山形県では冷たいスープで味わえる「冷やしラーメン」が実在するようです。

では、西日本ではどうなるのでしょうか。

西日本で「冷やし中華」は、冷やし中華と認識はされているものの、多くの人は「冷麺」と呼ぶようです。

そもそも冷麺を調べてみると「朝鮮料理。そば粉にも澱粉か小麦粉を加えて製した面をゆでてから冷やし、肉・キムチ・野菜などをのせて冷たい汁をかけたもの(広辞苑第七版)。」と記されています。

もし西日本に在住の方が、休みを利用して東日本に行き、その地で一般的に「冷やし中華」を食べたいと考え、どちらかの店に入り、大きな声で「冷麺1つください！」と、勢いよく頼んだら、その時には想像していない、朝鮮料理の可能性がテールブルの上に並んでしまう可能性が「冷やし中華」にありますね。

「冷やし中華」も、その一つをとっても地域と文化の違いがあり、どの地域に「冷やし中華」も、美味しいこと間違いなくあります。

## 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック

- ・アクセス JR中央線 東小金井駅 南口 目の前
- ・連絡先 〒184-0011 東京都小金井市東町4-44-19  
Tel 042-316-6211 Fax 042-316-6212
- ・診療時間 午前9:30-12:00 午後13:00-17:00 (最終予約16:00)

**※完全予約制**

水曜日、日曜日、年末年始・創立記念日・祝祭日を除く

詳しくは多摩クリニックホームページへ<http://dent-hosp.ndu.ac.jp/nduhosp/tama>





## 日本老年歯科医学会第33回学術大会に行ってきました。



新型コロナウイルス感染症により、多くの学会も中止せざるを得ない状況から、オンラインが普及しました。オンラインの良いところは、インターネットの環境であれば、どこでも気軽に参加できることにありました。

今年はオンラインと会場のハイブリッド開催となりました。会場に出向き、研究結果を聞けることは、とても多くの刺激を受けることができました。



多摩クリニックより、ポスター発表、課題講演等で発表致しました。

- \* 菊谷 武先生 在宅歯科医療委員会より  
「機能改善を望めない高齢患者の歯科診療指針策定のためのケーススタディ」
- \* 田村文誉先生 学術委員会より  
「口腔機能発達不全症の診断に該当する成人の問題とは」
- \* 高橋賢晃先生 課題口演「口腔機能低下症診断項目と摂食障害、フレイル、サルコペニアとの関連」  
ポスター発表「急性期病院における周術期口腔機能管理を地域歯科医師会の口腔衛生センターと連携した一例」
- \* 田中公美先生 優秀ポスター 一般部門「在宅療養高齢者における歯科訪問診療継続可否の予測因子の検討」
- \* 加藤陽子先生 課題口演「発話音声解析による高齢者の口腔機能推定の可能性の検討」  
認定医審査ポスター「高次脳機能障害を伴うパーキンソン症候群患者に対し管理栄養士と協働して摂食機能療法を行った一例」
- \* 市川陽子先生 認定医審査ポスター「脳血管疾患後の認知症高齢者への介入により、経口摂取開始およびADL改善を認めた一例」
- \* 伊藤瑞希先生 ポスター発表「歯科標榜のない急性期病院におけるシームレスな病診連携を確立するための取り組み」
- \* 南ひかる先生 課題口演「無歯科医地区における在住高齢者の歯科受診に関する実態調査」
- \* 石川 唯先生 一般口演「COVID-19感染後に経口摂取困難となり摂食嚥下リハビリテーションを実施した症例」

## 食べるを支える研修会2022年度のお知らせ



これまで「食べるを支える」の研修会にご参加いただきましてありがとうございます。また、早めに予定を知りたいと多数のご意見を頂きましたので、下記に年間予定を掲載いたしました。ぜひご都合を合わせて頂き、ご参加ください。

今回の研修会はこちら  
「口腔機能発達不全症研修会」  
食べる機能・話す機能・呼吸する機能のそれらが正常に獲得できていない状態を口腔機能発達不全症と言います。この口腔機能発達不全症について、研修会を開催いたします。どうぞ奮ってご参加ください！



## かかりつけ歯科医のススメ

新しい生活様式が定着しつつあります。マスクをしている光景が当たり前前となってきましたが、それと同時に「お口の臭い」に気づかれる人も多くなってきたようです。

マスクを着用することで「お口の臭い」に気づく人は、実は以前から口臭があった可能性が高いかもしれません。

お口のおい原因は、舌の汚れ、歯の汚れ、歯周ポケットの汚れにあります。普段から気を付けていても、やはり手の届かないところの汚れに関しては、専門的なケアが必要です。口腔と全身の健康を手に入れるための支援者として、**歯科衛生士はとても大切な役割もっています。**虫歯や歯周病を予防するために、その人にあったブラッシング指導や、歯石除去などを行います。

この新しい生活様式の機会に、マスクの中の健康も考えてみてはいかがでしょうか。



## <書籍のご案内>

多摩クリニックでは、論文だけでなく、書籍も多く執筆しております。



**ダウン症の子どもの摂食嚥下リハビリテーション**  
ダウン症の特性や口腔機能だけでなく、ダウン症の子どもの向き合い方や食べる楽しさについても説かれています。また、テーマごとの読み切りのため、摂食嚥下に携わる多くの人に役立つ1冊となっております。



**子どもの食べる機能の障害とリハビリテーション**  
摂食嚥下機能の発達に関する基本知識と障害児者の摂食指導や、その対処法の要点についてわかりやすく解説しています。摂食指導時に役立つ視覚支援用絵カード（日本語と英語）付録として付いています。